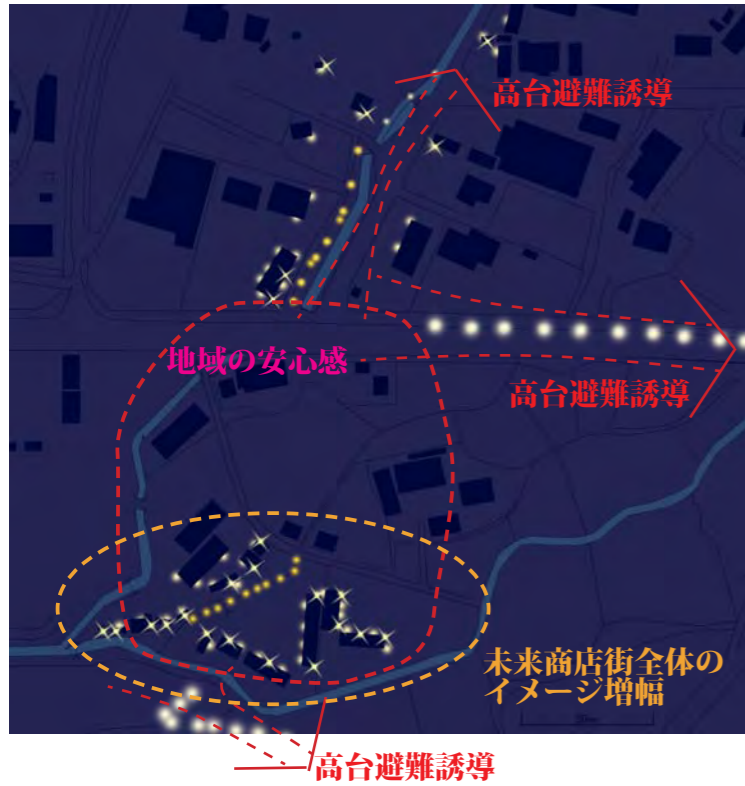


陸前高田市照明実験計画

— 灯りから地域の活性化を実現 —



この地区の街にしかない『穏やか（おだやか）なあかり』を作ります。人々が安心して、記憶に残る穏やかな気持ちになれるそんな光環境を目指す為の照明社会実験を行います。

照明社会実験内容

○暗闇を無くして安心感を増幅

通常の照明手法と比較して、省エネが実現できます。

○歩行性能の確保

最低限人が歩行する事ができる為に、段差などは認識できるようにします。

○人気をつくる

人気を感じるあかりをつくります。人気を感じる事によって、防犯性の確保と景観上の魅力を増幅させます。

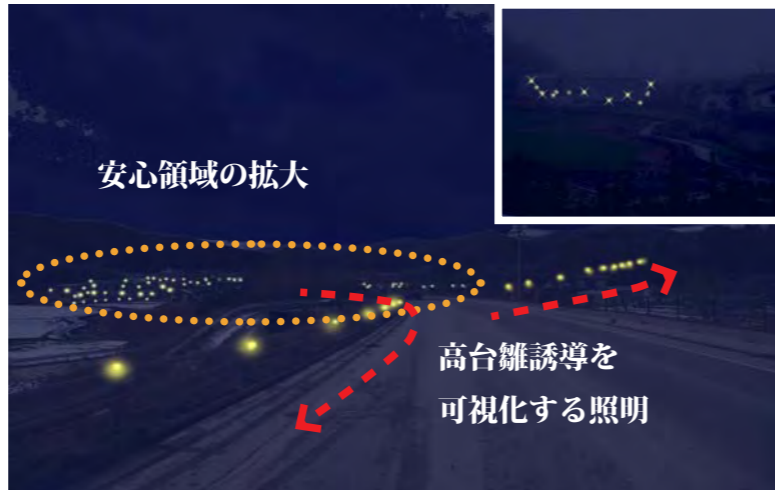
○高台避難誘導

常に高台方向の意識を得られることによって地域全体に安心感が得られます。

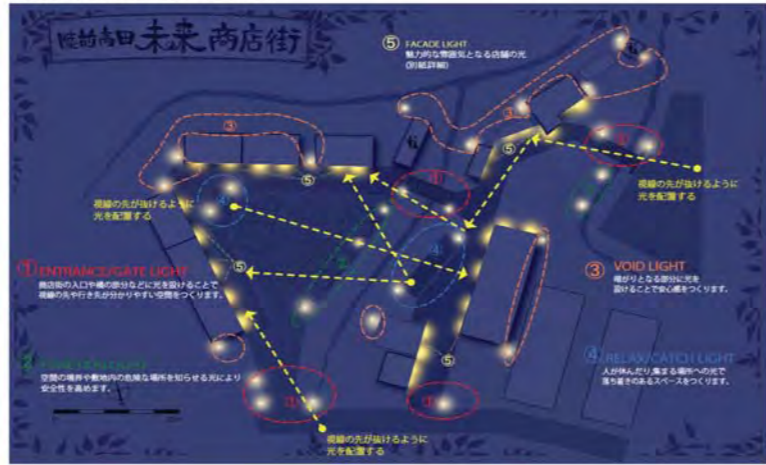
○散策したくなる街

人が散策したくなるような総合的な演出を行います。特に仮設店舗群では均一な規則的なあかりでなく、人気を感じる不規則なあかりを配置することによって、より新たな発見を促す、散策したくなる街を目指します。

この照明社会実験は一般社団法人住総研の研究費助成金によって運用しています。研究助成 No1302 委員会名「夜間の津波避難研究会」



未来商店街LIGHTING CONCEPT



① ENTRANCE/GATE LIGHT

商店街の入口や橋の部分などに光を設けることで視線の先や行き先が分かりやすい空間をつくります。

② FUNCTION LIGHT

空間の境界や敷地内の危険な場所を知らせる光により安全性を高めます。

③ VOID LIGHT

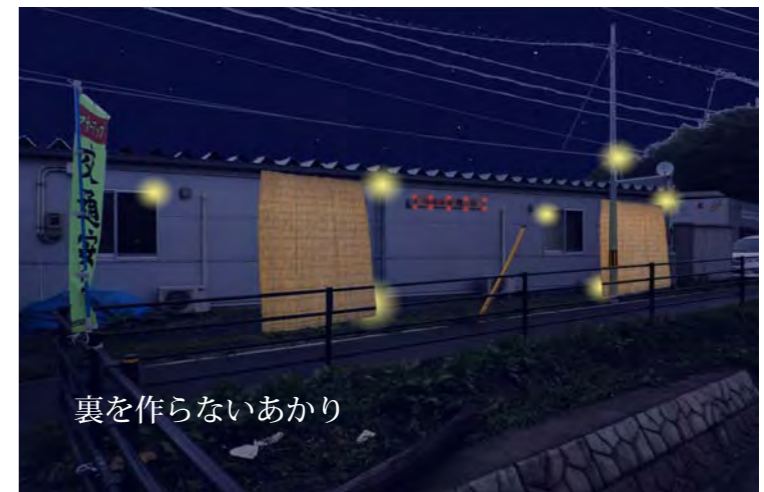
暗がりとなる部分に光を設けることで安心感をつくります。

④ RELAX/CATCH LIGHT

人が休んだり、集まる場所への光で落ち着きのあるスペースをつくります。

⑤ FACADE LIGHT

魅力的な雰囲気となる店舗の光



商店街の視認性を高める



スケジュールなど
2013年9月10日～10月上旬まで行います。実験終了時にはアンケート調査も同時に行います。

問合せ連絡先
東京都市大学 前田駿介 090-*****
ぼんぼり光環境計画 代表 角館 090-*****

